



若鯨会情報誌2022 No.200

相談できる!新商品のヒントがある!
経営について学べる!ビジネス
チャンスが満載!会員数は約550人!

コロナ禍で取り組んだ 3つのチャレンジ

今回は、お豆腐製造販売を営む株式会社くすむらの柘植一憲氏に、
コロナ禍を乗り越切り明るい未来を創造するための、チャレンジや若鯨
会の活かし方について語っていただきました。

新型コロナは事業に影響しましたか?

これまでにない苦境でした。しかし、
コロナを機に、3つのことにチャレンジ
しました。

1つ目は、情熱をもって頑張る若手社
員を登用して、内部組織体制を見直し
ました。2つ目は、今まで3人で回して
いた業務を2人でも回せるように創
意工夫をして、この難局を乗り越けま
した。そして3つ目は、令和4年1月20
日にセントレア空港に「田楽茶屋く
すむら」をオープンしました。田楽の文化
を世界にも発信できるチャンスと捉え
ています。セントレア空港への出店は、
ブランド力を高めるきっかけになると
思っています。



セントレア店外観



柘植 一憲
Kazunori Tsuge

昭和53年生まれ
平成18年若鯨会入会
平成28年代表取締役就任

株式会社くすむら
大正3年から続く老舗企業
お豆腐の製造、販売および新商品の開発、
豆腐料理の専門店経営

若鯨会は社業に活きていますか?

様々な会に入会しましたが、若鯨会
が一番ためになっています。若鯨会の
強みは、会員数が多いので、多方面の
業界の方と知り合えることです。また、



セントレア店メニュー

名古屋商工会議所の事務局が補助金
の情報はじめ、いろいろな情報を提
供してくれます。そうした情報をもら
うことで、自社の強みを活かせるよう
になりました。

若鯨会の入会を希望される方へ メッセージをお願いします。

とにかく積極的に参加してください。
事業に困っていることやわからないこと
を親切に教えてくれる素晴らしい仲間
がいます。入会お待ちしております。

若鯨会で活動してみませんか?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。

今年で40年目を迎え、創立以来自主運営で事業活動を行ない、会員の相互啓発と企
業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に活動しています。14のグル
ープ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の
経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

お問合せ・お申込み先

名商中小企業部内 若鯨会事務局まで

Tel.052-223-5634

WEB <https://www.wakashachi.net/>

資料請求
はコチラ

